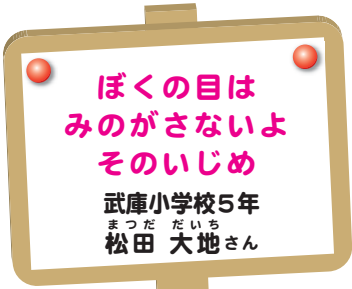


NO.418

平成 25 年度  
三田市人権ポスター入賞作品



# 人権さんだ



武庫小学校6年 たなか ゆかこ 優香子さん

人権さんだは、みなさんに人権に関する気づきや情報などをお届けします。新たな発見や共感したことなどを含めてご意見、ご感想を人権推進課までお寄せください。問い合わせ＝まちづくり部人権推進課 (559-5081-5148 FAX563-3611 e メールアドレス jinken\_u@city.sanda.lg.jp)

平成25年度  
三田市人権標語入賞作品

## 人権を考える市民のつどい

### 人権作文発表



▲母子小学校6年 ひわだ りな 檜田 里奈さん



▲けやき台中学校1年 のじり つむぎ 野尻 紬希さん



▲三田学園高等学校2年 かしたに みらの 梶谷 未来野さん

### 表彰



▲三同教フォトコンテスト表彰



▲人権標語・ポスター優秀賞表彰

三田市では『人権の尊重と共生社会づくり』をまちづくりの基本と位置づけ、部落差別をはじめ、あらゆる差別を早期に解消し、誰もが幸せを感じる人権文化のまちを創造していくことをめざして、さまざまな取り組みを行っています。その一つとして『人権を考える市民のつどい』を昨年12月14日、市総合文化センター(郷の音ホール)で開催しました。

人権標語、ポスター、フォトコンテストの表彰と、人権作文の発表が行われました。人権感覚が研ぎ澄まされた作品に溢れ、一人一人が自分をふり返る貴重な場になりました。引き続き、紙ふうせんの後藤悦治郎さんによる『竹田の子守唄が語り継ぐもの』をテーマにした人権トーク、部落解放同盟改進黨支部女性部の皆さんによるコーラス『竹田の子守唄(元唄)』他2曲を聴かせていただきました。最後に、紙ふうせんによ

### コーラス



▲部落解放同盟改進黨支部女性部のみなさん

『竹田の子守唄』は差別の厳しさと生活の貧しさの中で、家計を助けるために学校にも行けずに子守りをしてきた子ども達によって歌い継がれてきた『守り子唄』労働歌です。そこには、差別の中を生き抜き、差別のない社会をめざして子どもを育ててこられた先人たちの願いや思いが込められています。

るライブがあり、「あなたのあたたかい息をそっと吹き込んでください。紙ふうせんはポンと飛び上がりふわふわ着地します。」という思いの通り、とても楽しくて温かな雰囲気の中で、人権について考える場になりました。

「竹田の子守唄」から、先人の思いを感じる事ができました。紙ふうせんのライブ、すんだ声が心に響きました。

一年に一度“人権”に浸る半日を過ごすことができるこの機会を楽しみにしています。

竹田の子守唄(元唄)などの3曲のコーラスが大変良かったです。地域の方々の素朴な歌声、歌詞、胸にしみました。

### 参加者の声 ~アンケート~

会場がひとつになるコンサートがあり、人権を考える話があり良かったです。

人権標語、人権ポスター、人権フォト、人権作文と市民全体で人権を考える取り組みがなされていることはすばらしいと思う。

子どもたちの作文には大人の私も考えさせられました。大人も素直な気持ちで生きる必要があると痛感しました。